

# ドイツ製底面灌水機能美プランター LECHUZA(レチューザ) 取扱説明書

この度はレチューザをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使い下さい。また、大切に保管して下さい。

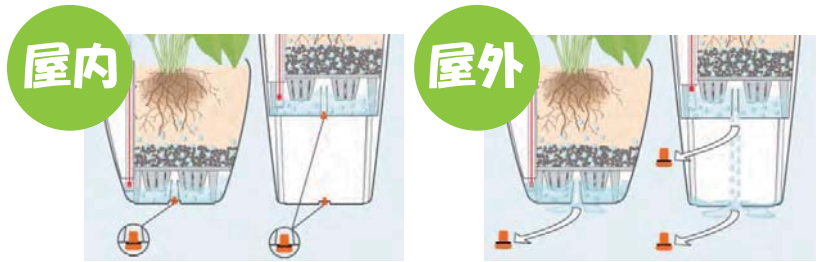
201405 版

\* アイテムにより仕様が画像と若干異なる場合がございます

## 準備

別紙付属の図解を見て部材がそろっているかを確認し、手順に沿って組み立てて下さい。

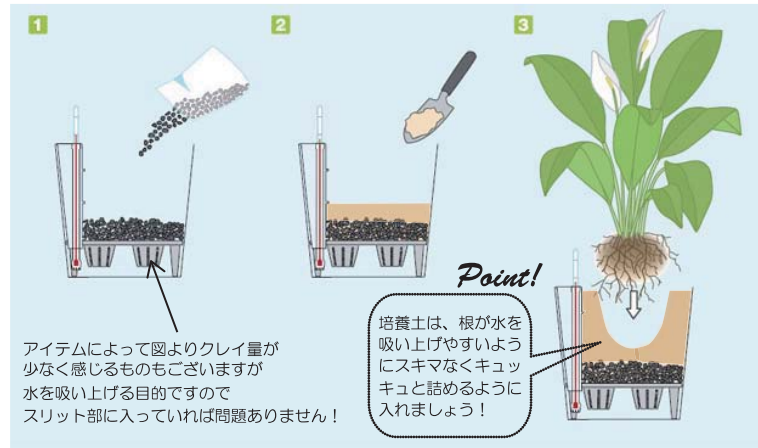
【!】底栓は仮止め状態になっています。  
出荷時点検済ですが、再度お客様の元で  
ご確認下さい。  
屋内で使用する場合は底栓をキッチリ閉め、  
屋外で使用する場合は底栓をはずします。



## 植込

### ★STEP1

クレイ (PON) を入れて⇒培養土を入れて⇒植物を植えこみます



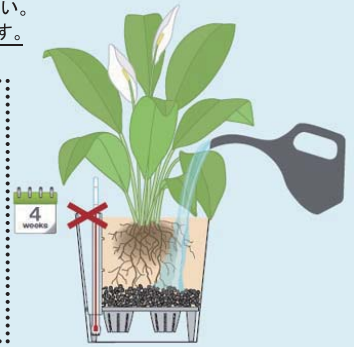
### ★STEP2

水やりをします。ただし初めの1ヶ月は用土の上から!

植替え直後の植物は新環境になじんでおらず、用土内も不均一です。初めの1ヶ月は全体に行き渡るように表面からゆっくりと水やりしてください。この期間に植物と用土がなじみます。



**Point!**  
プランター園芸のコツは用土内を均一に保ち適正な水やりをすること。ですから慣らし運転の大切な期間です。表面からあげた場合も当然水は溜まり、水位計の赤いゲージが上がりすぎます。まずは max まで入れず、水位計の半分ほどを指す程度の量で止めておきます。ゲージはゆっくりとあがりまわりの様子を見ながら少しずつ入れましょう。min まで下がったらまた半分ほどを指す程度まで水を入れる、を1ヶ月ほど繰り返して下さい。



## 日常のお手入れ

1ヶ月を過ぎたら、給水シャフトから水位計が max になるまで水を注いで下さい。あとはクレイ (PON) が水を吸い上げます。この時もゲージの上がりを確認しながらゆっくりと少しずつ注いで下さい。



底栓が閉まった状態で水を入れすぎた場合は、逃げ場がないため田んぼのような状態になってしまいます。もし max を超えてしまった場合は底栓を開けるか鉢を傾けて排水して下さい。大きいサイズの鉢は給油ポンプで吸い出すと簡単です。

### ■肥料について

クレイに元肥が含まれていますので半年～1年ほどは不要ですが、成長期や植物に合わせ追加して下さい。給水時に液肥を加えるのが簡単便利でしょう。流出口がないため、規定より薄めに与えて下さい。

### ■本体のお手入れ

柔らかい布やスポンジ等で、キズに注意しながら汚れを中性洗剤で拭き取して下さい。月に一度程度、車用ワックスやプラスチック保護材をかけるとより長持ちします。塗装を傷める場合がありますのでプレミアムタイプにはシンナー等の使用は絶対お避け下さい。

**Point! 必ずドライ期間を設けよう**

シャフトからの給水を始めて、水が空になり、水位計が min を指しても 1週間ほど※は水を入れずに『ドライ期間』をおいて下さい。min になっても用土内にはまだ十分な水分が残っています。その水分を使い切って用土内を乾かす期間です。この間に植物は水を求めて根を伸ばし、丈夫に育ちます。

※およその期間です  
植物によりますがしんなりと萎れる程度の期間を目安して下さい

★まれに水位計が動かなくなることがあります。水位計は浮きの原理で水量を感知しています。水滴で赤い芯棒がへばりついてしまった、または中でひっかかっている場合などが考えられます。そのような時は水位計を軽く指ではしく、軽くゆするなどして様子を見て下さい。また、長くお使いいただいていると根が伸びすぎて水を感知する部分に絡まってしまう場合もあります。その場合は根を詰めてやるか大きなサイズへの植替えが必要です。

縦横式では斜めの放線することはいけません!



レチューザはプランターでありながらも自然界で地植えをしているような快適な空間を作れますが、植える植物の特性まではフォローできません。日当たりを好む、日陰が適している、お水が大好きなどその植物に合わせた生育環境で育ててあげて下さい。埃や乾燥を防ぐ対策(葉への霧吹きや水拭き)など個々の植物に合わせた最低限のメンテは行ってやらないと、生き物ですから枯れてしまったり病気になってしまう可能性があります。

■輸入元  
有限会社 松尾貿易商会  
〒350-1222  
埼玉県日高市大谷沢 667-2  
tel.042-984-0808  
fax.042-984-0818

